



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	情報化推進室	No.	01
事業名	情報化推進事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な行財政運営
	小分類		
目的	大口町が保有する情報の電子化を推進していくことにより、職員、町民間で効率的に情報を共有できるようにし、協働と参画のまちづくりの基礎とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の電子化を推進する目的に、情報を保有する所管課との連携、調整、助言</li> <li>・電子機器有効活用の指導、助言</li> <li>・行政事務電子化推進を目的に、行政課電算グループとの連携</li> <li>・情報発信を目的に、政策推進課との連携</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバー法施行に伴い、セキュリティポリシーの強化</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>基幹システム及び情報系システムの安定稼働に向け、行政課と連携し順調に推移。情報系システムについては、マイナンバー法施行に伴い、総務省よりセキュリティの強靱化計画が示されてきており、行政課と連携し、対応が必要となってきた。公式ホームページの運用について、アクセシビリティに配慮し、より多くの情報を発信するよう政策推進課と連携。</p> <p>26年度より運用開始した公開型地図情報システム「大口町暮らしマップ」は、新たなコンテンツも追加され、概ね順調であるが、まだまだ公開できるコンテンツは多数あると思われるので、担当課に働きかけていく必要がある。</p> <p>USTREAM や YOUTUBE といった動画配信システムを活用し、安価に「五条川ライブ」や議会中継等といった情報を試行的に WEB 発信。</p> <p>Facebook 等の SNS を、情報発信にどう活用するか試行していく必要がある。</p>		
平成 28 年度の目標又は改善策	<p>基幹及び情報系のセキュリティシステムを活用して、情報の適切な利用がなされているか、また、職員の不正アクセスが無い監視強化し、情報漏洩を防ぐ。</p> <p>26年度導入した公開型地図情報システムを活用して、政策推進課と連携し、各課が持つ地図情報の情報発信を行い、住民との情報共有を進展させる。</p> <p>役場内の行政情報の電子化を進めるため、職員間の電子機器の活用のための学習会等を行政課、政策推進課と連携して実施。</p> <p>基幹、情報系等電子システムのスムーズな運用ができるよう行政課と連携。</p> <p>25年度に導入した文書管理システムの活用を行政課とともに推進し、文書管理の合理化、電子化を進める。</p> <p>全部改定したセキュリティポリシーの確実な実施を目指す。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
随時	公開型地図情報システムの各レイヤーの追加、修正 アクセス状況のチェック（毎月随時に電算室にて実施） エクセル、ワードの職員間学習会の実施及び個別対応 ホームページのアクセシビリティチェック 電子システムの不具合対応 マイナンバー法対応事務の進捗状況のチェック、連携及びシステム構築、変更の調整 USTREAM や YOUTUBE へのコンテンツ作成 Facebook 等の SNS による情報発信を試行

## □3年間の目標

項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円			
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工			
	臨時職員	人工			
	計	人工			

## ■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 情報系システムの強靱化対策を行政課とともに推進。LGWAN 系とインターネット系の完全分離を、インターネット系を SCVX システムを導入することにより仮想化することとし、相互のデータの送受信を Smooth File システムにより実現することとした。
- 公式フェイスブックの開設
- USTREAM による五条川ライブ配信

## ■ 評価

ネットシステムの強靱化により、情報系からインターネットを完全分離したため、インターネットを介し外部から攻撃される脅威は、ほぼ完全に取り除くことができた。

また、フェイスブックや USTREAM といったツールを取り入れることにより、広範囲に情報発信が行えたと考えられる。USTREAM による議会ライブ中継は試行実施を終了したものの、五条川ライブ配信は年度末で概ね通算 15,000 件のアクセスを実現している。